

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

子どもの摂食障害

最近の新聞記事から

「くらしナビ・ライフスタイル：摂食障害の小中高生急増」（毎日新聞 2022年11月4日 朝刊15ページ）




「摂食障害の悩み 相談して 電話窓口開設「正しい知識・選択肢伝える」」

（朝日新聞 2022年10月14日 朝刊28ページ）

摂食障害の一つである「神経性やせ症」の小中高生新規患者が2020年・21年に急増しました。コロナ禍での休校と部活自粛で周囲の人との関わりが失われたことや、生活が大きく変わったことによるストレスが指摘されています。摂食障害により深刻な栄養不足の状態が続くと、低血糖や無月経などの症状が出るほか、うつを伴うこともあり、放置すれば衰弱死や自殺に至る恐れもあります。

本紙では、子どもの摂食障害に関する資料やWeb情報、家族や学校関係者など周囲のサポートについての資料を紹介します。

【摂食障害で困っているあなたへ】

サイト名・記事名・書名	URL・出版情報等	
10代から知っておきたい摂食障害 はじめて学ぶ精神疾患	西園マーハ文監修 保育社 2022 中央：J493/シユ 図書	
摂食障害とはどのような病気なのか、どのように治療していくのかについて、図やイラストを用いて、わかりやすく説明している。自分自身の状態を知るための「心の健康チェック」のチェックリストもついている。		
14歳からの精神医学 心の病気がってなんだろう	宮田雄吾著 日本評論社 2021 中央：J493/ミユ 図書	
摂食障害の項目では、ストーリー形式で摂食障害が始まるきっかけや、どのような症状が起きるのかを紹介し、そのあとで症状や原因、治療について解説している。摂食障害のほか、社交不安症、強迫症、うつ病、統合失調症、神経発達症（発達障害）についても取り上げ、心の病気になりにくくする方法も紹介している。		
摂食障害オバケの“ササヤキ” やせたら要注意	雨こんこん作 池田蔵人絵 鈴木眞理監修 図書 少年写真新聞社 2020 中央：J493/アメ	
青年期に摂食障害を経験した著者による絵本。摂食障害になりやすい性格や症状、回復のためのアドバイス、不安な気持ちの受け止め方をえがく。		

【周囲にサポートを頼むには】

<p>家族ができる摂食障害の回復支援</p>	<p>鈴木高男著 星和書店 2018 西部：49374/199</p>	<p>図書</p>
<p>子どもが摂食障害になった経験を持つ著者が、摂食障害について家族に知ってほしいこと、回復を支える上でのポイント、家族にできることをまとめている。同じ経験を持つ親による体験談や、座談会も載っている。</p>		
<p>チームで取り組む 摂食障害治療・支援ガイドブック 第2版</p>	<p>日本摂食障害協会 2020 西部：49374/268</p>	<p>図書</p>
<p>医師や看護師、臨床心理士、管理栄養士、教職員や養護教諭、家族など、摂食障害に悩む本人と直接関わる人々をチームメンバーとし、治療と支援における職種ごとの役割と働きについて述べている。</p>		

【子どもの摂食障害とは】

<p>こどもの摂食障害 エビデンスにもとづくアプローチ</p>	<p>稲沼邦夫著 金剛出版 2019 西部：49393/344</p>	<p>図書</p>
<p>臨床心理士として小児の摂食障害と関わってきた著者が、病因や発症のメカニズム、発症を引き起こしやすい性格傾向、具体的な治療のアプローチ、回復過程における問題についてエビデンスをもとに述べる。</p>		
<p>摂食障害情報ポータルサイト (一般の方)</p>	<p>摂食障害全国支援センター https://www.edportal.jp/</p>	<p>Web情報</p>
<p>摂食障害で悩む本人や、周囲で支える家族・友人向けに、摂食障害に関する情報を紹介している。「摂食障害で悩んでいる方へ」内の「10代のあなたへ」のページでは、10代の摂食障害の特徴や治療法などについて解説している。また、「診療連携・相談窓口」のページでは、千葉県摂食障害支援拠点病院ホームページへのリンクや、各支援拠点病院のリーフレットが見られる。</p>		
<p>摂食障害の子どもたち 家庭や学校で早期発見・対応するための工夫</p>	<p>高宮静男著 合同出版 2019 西部：49393/409</p>	<p>図書</p>
<p>摂食障害の基本的知識、家族の支援や学校との連携などについて、症例を多く紹介しながら解説している。巻末には早期発見・支援に役立つツールとして、成長曲線、子ども版 EAT26(摂食障害の種類や状態を把握するための質問紙)、体重や BMI の数値から「家族に連絡する」「受診を勧める」等の段階を判断するためのエキスパートコンセンサス、紹介状の例が載っている。</p>		
<p>日本小児心身医学会 ホームページ</p>	<p>日本小児心身学会 https://www.jisinsin.jp/</p>	<p>Web情報</p>
<p>「一般の皆様へ」内の「小児の心身症-各論 (15)摂食障害」のページでは、摂食障害の成因や体重減少による体の変化、治療について解説しているほか、「公開資料・提言」のページでは「小児摂食障害サポートパンフ」を公開している。また、トップページでは「新型コロナウイルスと子どものストレスについて (国立成育医療研究センター)」など、コロナ禍の子どものメンタルヘルスに関する情報へのリンクを掲載している。</p>		
<p>思春期の摂食障害 一体重さえ増やせば治りますか？</p>	<p>『こころの科学』(日本評論社 217号 2021年5月) 特集 思春期のこころとからだ p83-88 西部</p>	<p>雑誌</p>
<p>摂食障害の病型分類、国際的な治療ガイドラインのほか、体重が一定になるカロリーのみを輸液し、患者自身の食べる行為や体重変化に対する葛藤、家族とのせめぎ合いを解消することで、洞察的な心理療法を可能とする「定常体重療法」の理念と方法について解説している。『こころの科学』では、215号(2021年1月)で「コロナが変える社会とこころ」、226号(2022年11月)で『助けて』が言えない 子ども編』を特集している。</p>		